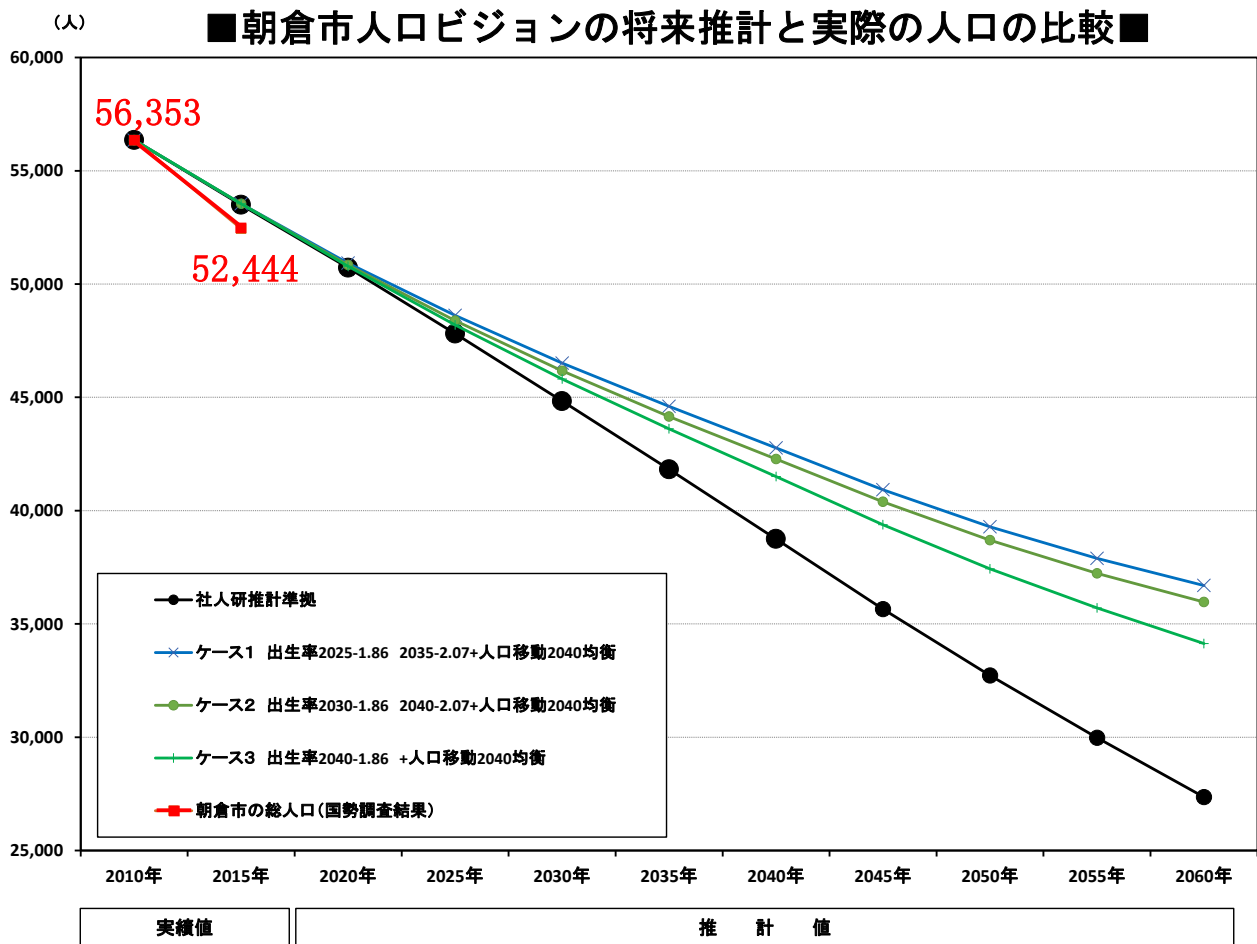


第1期朝倉市総合戦略の取組と総括(中間)

2019年10月修正



(単位:人)

	実績値	推計値									
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計準拠 出生率2024-1.33 長期的に1.35へ収束 純移動率0.5倍-2020	56,353	53,492	50,718	47,812	44,833	41,823	38,748	35,659	32,729	29,978	27,359
ケース1 出生率2025-1.86 2035-2.07		53,539	50,927	48,618	46,510	44,608	42,765	40,919	39,286	37,893	36,694
ケース2 出生率2030-1.86 2040-2.07		53,539	50,845	48,384	46,170	44,155	42,279	40,386	38,692	37,235	35,966
ケース3 出生率2040-1.86		53,539	50,779	48,197	45,812	43,607	41,508	39,378	37,433	35,704	34,135
朝倉市の総人口		52,444	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(出典)内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に作成

朝倉市第1期総合戦略のKPI進捗状況調査結果(2019.9月時点)

○朝倉市の人口ビジョン・総合戦略(平成28年3月)に掲げられた各取組みのKPIについて、平成30年度末時点の実績値と現時点の進捗状況をまとめたもの。
(基本目標のKPI:6件、各施策のKPI:28件)

○これらを、

- S 既に目標達成済又は目標達成が見込まれる
- A 目標達成に向けて進捗している※目標達成は難しいが当初の値より実績が上昇しているもの
- B 目標達成に向けて進捗していない※当初の値より実績が上昇していないもの
- C その他(統計上実績値の把握が不可能なもの、数値目標の設定自体が困難なもの)

に分類すると、それぞれの件数及び割合は以下のとおり。

○また、未達成理由(上記でS以外を選択)を以下のとおり分類。

- 外的要因 市町村以外の何らかの要因により達成できないもの
- KPI設定要因 評価設定が要因となり達成できないもの
- 事業未実施 事業そのものを実施しておらず達成できないもの
- その他要因 その他の各種要因により達成できないもの
- 不明 要因を特定できないもの

KPIの総計

<全体> 各柱の合計

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	16	47%	1	17%	15	54%					
A	8	24%	2	33%	6	21%	4	3	0	1	0
B	9	26%	2	33%	7	25%	5	0	0	4	0
C	1	3%	1	17%	0	0%	0	1	0	0	0
合計	34	100%	6	100%	28	100%					

基本目標Ⅰ 特色を活かしたしごとができる朝倉

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	7	70%	1	50%	6	75%					
A	2	20%	1	50%	1	13%	2	0	0	0	0
B	1	10%	0	0%	1	13%	1	0	0	0	0
C	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0

基本目標Ⅱ 誰もが住みたい朝倉

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	4	50%	0	0%	4	57%					
A	2	25%	0	0%	2	29%	0	1	0	1	0
B	2	25%	1	100%	1	14%	2	0	0	0	0
C	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0

基本目標Ⅲ 安心して結婚・出産・子育てができる朝倉

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	0	0%	0	0%	0	0%					
A	3	43%	0	0%	3	50%	1	2	0	0	0
B	3	43%	0	0%	3	50%	0	0	0	3	0
C	1	14%	1	100%	0	0%	0	1	0	0	0

基本目標Ⅳ 地域の個性で輝く朝倉

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	1	25%	0	0%	1	33%					
A	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0
B	3	75%	1	100%	2	67%	2	0	0	1	0
C	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0

基本目標Ⅳ 全力で魅力を発信する朝倉

	全KPI	割合	基本目標のKPI	割合	各施策のKPI	割合	未達成理由				
							外的要因	KPI設定要因	事業未実施	その他要因	不明
S	4	80%	0	0%	4	100%					
A	1	20%	1	100%	0	0%	1	0	0	0	0
B	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0
C	0	0%	0	0%	0	0%	0	0	0	0	0

基本目標1 特色を活かしたしごとができる朝倉

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等		
	総生産額	3,132億 4,800万円 (2012年)	3,200億円 (2019年 報告書)	県民経済・市町村民経済計算報告書（年度集計は翌々年度末に報告） ふくおかデータウェブ（福岡県）		
指標説明	一定期間（会計年度）における県内市町村の経済を、「財やサービスの生産」「所得の分配」の両面から把握する総合的な経済指標。市町村の経済規模や産業構造、所得水準等を比較、分析する指標となる。			進捗状況		
				S	最終年度における自然災害の影響が未確定	
実績データ	年	2015年報告 (2013年)	2016年報告 (2014年)	2017年報告 (2015年)	2018年報告 (2016年)	2019年報告 (2017年)
	数値	318,850百万円	321,440百万円	325,399百万円	325,759百万円	
	増減比	101.79%	102.62%	103.88%	103.99%	
※増減比＝基準値比						
<p style="text-align: center;">朝倉市内総生産額</p>						
数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等		
	事業所従業者数	11,650人 (2014年)	12,000人 (2019年)	朝倉市労働概況（10月1日調査基準日）		
指標説明	業種別雇用形態別従業者数、全従業員数 市内に所在する事業所で、従業員数20名以上の事業所に調査			進捗状況		
				A 外的要因	豪雨災害による事業所の市外移転、廃業	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	11,425人	11,311人	11,964人	11,672人	
	増減比	98.07%	97.09%	102.70%	100.19%	
<p style="text-align: center;">事業所従業者数</p>						

考察

基本目標に直結するKPIとしては、総生産額と事業所従業者数で、事業効果进行评估しています。総生産額については、2年遅れで集計が報告されるため2016年度までの数値しか取れていませんが、大型店の景況の影響により増加し、目標値を達成しています。事業所従業員数についても、目標値に届かないものの微増しています。

しかし、総生産額を分野別で見ると、製造業や卸売業が生産額を押し上げているものの、小売業販売額や農業産出額については減少しています。今後発表される2017年の生産額は、豪雨災害の影響が色濃く表れ、更に減少するのではないかと危惧されます。地域経済の活性化を図るためには、中小企業の支援、農林業の振興などを進め、経済を底上げする必要があります。

また、国が進める「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」社会の実現に向けた取組みに対応し、誰もが働きやすい地域づくりに取り組んでいくことも必要と思われる。

(1) 雇用の創出・地元就職

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		昼夜間人口比率	105.2 (2010年)	105以上 (2019年)	国勢調査(総務省統計局)による 昼夜間人口比率(政府統計の総合 窓口e-stat) 5年ごとの集計	
指標説明		昼夜間人口比率(夜間人口100人当たりの昼間人口) (昼間人口)/(朝倉市人口)*100 常住地による人口(夜間人口)とは、調査時に調査の 地域に常住している人口 従業地・通学地による人口(昼間人口)とは、従業 地・通学地集計の結果を用いて、算出された人口			進捗状況	
					S	最終年度におけ る自然災害の影 響が未確定
実績データ	年	-	2015年	-	-	-
	数値	-	106.9	-	-	-
	増減比	-	1.7 UP	-	-	-
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		有効求人倍率	0.96 (2014年)	1以上 (各年度)	職業安定業務年報(労働市場概況 編) (福岡労働局職業安定部)	
指標説明		公共職業安定所朝倉所管轄内自治体(筑前町、朝倉 市、東峰村) 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数 ※求職者(仕事を探している方)1人当たりどれだ けの求人数があるか。			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	1.47	2.37	3.23	2019年12月判明	
	増減比	153.13%	246.88%	336.46%		
主な施策		女性の就職応援会(雇用促進事業) 産業政策マネージャー(企業誘致事業)				

(2) 農林業、6次産業化・ブランド推進

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		新規就農者数	8人 (2014年)	10人 (各年度)	朝倉普及指導センター集計(年 次) (農業振興課)	
指標説明		福岡県の朝倉普及指導センターにおける、毎年6.1- 翌年5.31の期間の集計公表値。			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	12人	7人	5人	10人	
	増減比	150.00%	87.50%	62.50%	125.00%	
主な施策		広域連携でのグリーンツーリズム定着に向けた取組(広域地域振興事務) 杷木農林産物処理加工施設の活用(杷木農林産物処理加工施設管理運営事業) 農業インキュベートの推進(農のエリア活用事業) 6次産業化・ブランド化の推進(特産物育成事業) 新規就農者への経済的・技術的支援(新規就農総合支援補助事業) 農業生産基盤整備事業補助(農業生産基盤整備事業補助事業)				

(3) 観光振興

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		観光入込客数	2,998,600人 (2013年)	3,500,000人 (2019年)	福岡県観光入込客推計調査 市町村別入込客 (福岡県商工部観光・物産振興課)	
指標説明		日帰り客と宿泊客の合計。 【調査対象箇所】日帰り客（一般行楽：工場見学、原鶴温泉日帰り、三連水車、道の駅等の観光地等、祭・行事：市民まつり、おくんち、花火大会等、文化財等：秋月城址、平塚川添遺跡公園、三連水車他など）、宿泊客（原鶴温泉、甘木地区温泉など）訪日外国人者数は、項目としては入込客に加わっているが、単独での統計なし。			進捗状況	
					A 外的要因	豪雨災害による行楽地、行事等の利用不能期間
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	3,151,700人	3,167,300人	3,064,800人	3,164,800人	
	増減比	105.11%	105.63%	102.21%	105.54%	
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		宿泊利用客数	275,200人 (2013年)	300,000人 (2019年 調査報告)	福岡県観光入込客推計調査 市町村別入込客（宿泊） (福岡県商工部観光・物産振興課)	
指標説明		旅館・ホテル棟の宿泊客数の集計。 調査対象箇所（温泉旅館・ホテル宿泊客）			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年報告 (2014年)	2016年報告 (2015年)	2017年報告 (2016年)	2018年報告 (2017年)	2019年報告 (2018年)
	数値	332,600人	419,000人	457,800人	458,000人	
	増減比	120.86%	152.25%	166.35%	166.42%	
主な施策		三連水車の里あさくらの施設充実(三連水車の里あさくら管理事業) 秋月・原鶴など観光名所の振興(原鶴温泉振興イベント開催補助事業、秋月地区観光振興補助事業) ハサ口のひまわり栽培(ひまわり栽培管理事業) 観光施設及び公共施設の無料Wi-Fi拠点整備(観光施設維持管理事業、観光振興係庶務事務) 秋月博物館の施設整備(秋月博物館建設事業)				

(4) 若い世代との連携

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		若い世代との連携事業数	1件 (2014年)	1件 (各年度)	高校・大学や研究機関等との連携事業数(商工観光課・ふるさと課)	
指標説明		高校・大学や研究機関等との連携事業数として指標を記載している			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	1件	1件	1件	1件	
	増減比	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
主な施策		高校生の提言(高校生の提言事業) 朝倉の宝-女子大連携事業(“朝倉の宝”観光振興事業)				

(5) 高齢者も働きやすい環境づくり

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		シルバー人材センター会員数	469人 (2014年)	500人 (2019年)	朝倉市決算に係る主要な施策の成果説明書 シルバー人材センター会員数 (介護サービス課)	
指標説明		介護サービス課から毎年度末にシルバー人材センターに会員数の照会を行う。(会員数は年度末時点の会員数)			進捗状況	
					B 外的要因	企業等に再雇用される高齢者の増
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	465人	431人	410人	381人	
	増減比	99.15%	91.90%	87.42%	81.24%	
主な施策		シルバー人材センターで生涯活躍(シルバー人材センター運営支援事業)				

(6) 地場企業の育成・地域産業の強化

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		創業者創出数	— (2014年)	5件 (各年度)	朝倉市創業支援事業計画 (商工観光課)	
指標説明		朝倉市創業支援事業計画の中で、新規に創業支援事業におけるワンストップ窓口設置による相談を行い、その創業者創出数の把握を行う。 (商工会議所や商工会、市内金融機関等と連携)			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	2件	4件	3件	11件	
	※2015年比 増減比	-	200.00%	150.00%	550.00%	
主な施策		プレミアム商品券(復興応援券)で消費を喚起(プレミアム商品券発行運営補助事業) プレミアム商品券で地域経済の活性化(プレミアム商品券発行運営補助事業) 創業による地域経済の活性化(新規創業促進補助事業)				

基本目標2 誰もが住みたい朝倉

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等																
	社会増減数	△1,112人 (2010 ～14年累計)	△927人 (2015 ～19年累計)	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」																
指標説明	社会増減数＝転入数－転出数 ※マイナス数値は転出超過			進捗状況																
	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」1月1日現在（前年1月1日から12月31日までの1年間）の5年累計			B 外的要因	豪雨災害による生活再建の市外移転															
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年														
	数値	△ 1,310人	△ 1,302人	△ 1,488人	△ 1,477人															
	増減比	117.81%	116.64%	130.94%	128.51%															
※増減比＝基準値																				
<div style="text-align: center;"> <p>社会増減数</p> <table border="1"> <caption>社会増減数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>社会増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年</td> <td>△ 1,100人</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>△ 1,310人</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>△ 1,302人</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>△ 1,488人</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>△ 1,477人</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>△ 1,477人</td> </tr> </tbody> </table> </div>							年	社会増減数	2014年	△ 1,100人	2015年	△ 1,310人	2016年	△ 1,302人	2017年	△ 1,488人	2018年	△ 1,477人	2019年	△ 1,477人
年	社会増減数																			
2014年	△ 1,100人																			
2015年	△ 1,310人																			
2016年	△ 1,302人																			
2017年	△ 1,488人																			
2018年	△ 1,477人																			
2019年	△ 1,477人																			



考察

8つの数値目標のうち、4つで目標値を達成していますが、基本目標に直結する指標である、社会増減数は、転出数が転入数を上回る転出超過の状態が続いています。

年齢別で見た場合、進学・就職などに伴う20～24歳の転出超過が突出しており、40歳以降になると転出・転入ともに減少して均衡した状態になっています。

地域の将来を支える人材育成や地域について探求する「ふるさと教育」など、若者の人口流出抑制に向けた取組みを進めることに加え、多世代の移住定住を促進するとともに、居住に至らないものの、継続的に多様な形でかかわる「関係人口」の拡大にも取組み、将来的な移住定住につなげていく必要があります。

都市基盤整備の取組みを進めることで、公共交通や地域経済の機能的な循環を生み出すことに繋がりますが、多様化する居住スタイルに合った地域をつくり、安全で安心して住める住環境を整備する取組みも必要です。

(1) サポート体制の充実

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		移住・定住ポータルサイト閲覧数	- (2014年)	10,000件 (2019年)	朝倉市ホームページアクセス件数 (総合政策課)	
指標説明		朝倉市ホームページアクセス件数のタイトル別コンテンツアクセス数一覧から「移住・定住TOP」で月分を集計 移住・定住TOPページから朝倉市の紹介、移住・定住等の支援・制度等の情報、移住・定住PRパンフレットのダウンロード、宅建協会へのリンク			進捗状況	
					A KPI設定要因	目標値の予測が不十分
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	5,320件	6,086件	5,843件	5,261件	
※2015年比	増減比	-	114.40%	109.83%	98.89%	
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		移住希望相談件数	- (2014年)	50件 (2019年)	移住・定住相談窓口となっているふるさと課への相談件数（ふるさと課）	
指標説明		移住・定住相談窓口となっているふるさと課への相談件数を集計			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	14件	98件	29件	81件	
※2015年比	増減比	-	700.00%	207.14%	578.57%	
主な施策		空き家の利活用推進（空き家利活用事業） 移住・定住促進（移住・定住推進事業） 活力ある地域づくり助成事業（地域振興係庶務事務）				

(2) 住環境への支援

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		新築住宅件数	181件 (2014年)	200件 (2019年)	家屋に係る概要調書検収調書 (その1)(その2)の合計棟数 集計（税務課）	
指標説明		家屋に係る概要調書検収調書（その1）（その2）の合計棟数集計 （その1）木造家屋 専用住宅と共同住宅・寄宿舍の新築分 （その2）木造以外の家屋 住宅・アパートの新築分			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	151件	170件	183件	212件	
	増減比	83.43%	93.92%	101.10%	117.13%	
主な施策		快適に暮らせる住環境の整備（あさ暮らし住宅補助事業） 不良家屋解体撤去費用の一部助成（不良空家解体撤去補助事業）				

(3) 若者への支援

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		市内高校の就職 内定率	99.1% (2014年)	100% (2019年)	毎年度7月開催の担当課長会資料 (商工観光課)	
指標説明		各高校から提出される就職者数から算定			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	98.1%	98.6%	100.0%	100.0%	
	増減比	1.0 DOWN	0.5 DOWN	0.9 UP	0.9 UP	
主な施策		大学生等消防団員への給付型奨学金（学生消防団員奨学金給付事業） 高校生就職応援会（雇用促進事業）				

(4) 交通の利便性の向上

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		甘木鉄道甘木駅 の年間乗客数	210,280人 (2014年)	210,000人 (2019年)	甘木鉄道株式会社からの毎年度報告 (防災交通課)	
指標説明		甘木鉄道株式会社からの毎年度報告される各駅甘鉄乗 車人員の甘木駅分 人員は定期（通勤、通学）と普通乗車人員の合計。			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	227,094人	225,277人	251,025人	250,068人	
	増減比	108.00%	107.13%	119.38%	118.92%	
数値目標		コミュニティバ スの年間利用者 数	31,975人 (2014年)	33,400人 (2019年)	交通事業者からの毎年度報告 (防災交通課)	
指標説明		コミュニティバスの年間利用者数 朝倉市地域公共交通網形成計画の数値目標を目標値と している。形成計画の数値は経年の増減率を換算して 算定。			進捗状況	
					B 外的要因	豪雨災害による 路線の休止
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	32,518人	31,312人	26,391人	23,062人	
	増減比	101.70%	97.93%	82.54%	72.13%	
主な施策		公共交通の利便性向上（甘木鉄道支援事業） 交通の利便性の向上（コミュニティバス事業） バス待待合所設置補助（バス待合所等設置補助事業）				

(5) 買い物しやすいまちづくり

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		買い物環境に不 便を感じる市民 の割合	25.0% (2014年)	20% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課)	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート 「身近に日常品の買い物ができる場所がなく困ってい るか。」の設問に「困っている」「やや困っている」 と答えた市民の割合			進捗状況	
					A その他要因	小規模店舗の廃 業
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	19.7%	-	21.2%	-	
	増減比	-	-	-	-	
主な施策		空き店舗の利活用（商店街空き店舗対策補助事業）				

基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる朝倉

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		合計特殊出生率	1.44 (2012年)	1.50~1.60 (2019年)	厚生労働省「人口動態調査」および「人口動態統計特殊報告」（市町村別の合計特殊出生率は5年毎に発表）	
指標説明		15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。			進捗状況	
					C KPI設定要因	実績値の把握不可能
実績データ	年	-	-	2017年	-	-
	数値	-	-	2020年3月頃判明	-	-
	増減比	-	-	-	-	-
※増減比＝基準値						
<p>朝倉市人口ビジョン 【総合政策課】</p>						

考察

7つの数値目標のうち、目標値を達成できている指標はないものの、婚姻件数や子育てサービスの市民アンケート数値は、基準値から緩やかに上昇しています。

基本目標の指標になっている合計特殊出生率は、市町村数値は5年ごとの集計のため、策定以降の数値が取れていません。朝倉市は2002年まで、減少傾向であるものの、国や県より高い水準を維持していましたが、2000年代以降、国県と僅差の数値となっています。

前述の基本目標2のとおり、若者の転出超過が続いていること、出生数が年々減少していることなどを考えると、劇的な回復は見込めず、国や県と同水準での移行も厳しいと考えます。

第1期戦略策定以降、縁結び応援事業などの婚活支援、子ども医療費の助成の充実や、私立保育所の支援、公立保育所や学童保育所の整備など保育環境づくり、孫育て支援、放課後活動事業、子どもの居場所づくりなど地域ぐるみの子育て推進を行ってきましたが、様々な要因が絡み合っていることから、総合的な取組みを考え、若い世代の結婚・出産・子育ての、個々人の希望をかなえる少子化対策を検討していく必要があります。

(1) 親・子・孫三世代暮らしの推進

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		三世代同居・近居世帯の割合	28.6% (策定時)	30% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課) ※基準値は総合戦略策定時(2015年度始め)にアンケート実施	
指標説明		無作為抽出した18歳以上の市民3,000人に対してアンケート実施。 ①三世代同居(親・子・孫)+③一人暮らし、または夫婦のみで親または子が近所(市内)に住んでいるの合計			進捗状況 B その他要因 子育て世代の流出増	
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	24.4%	-	22.3%	-	
	増減比	4.2 DOWN	-	6.3 DOWN	-	
主な施策		祖父母世代の子育て支援ガイドの印刷(子ども・子育て支援計画推進事業) 新婚世帯への新生活支援(結婚新生活支援事業)				

(2) 出会い創出・婚活支援・結婚

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		婚姻件数	206件 (2014年)	250件 (2019年)	厚生労働省「人口動態調査」 e-stat政府統計 人口動態調査-人口動態統計-確定数-総覧-年次	
指標説明		人口動態統計は、市区町村長が作成する人口動態調査票に基づいて表わされる。			進捗状況 A KPI設定要因 目標値の予測が不十分	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	198件	201件	206件	236件	
	増減比	96.12%	97.57%	100.00%	114.56%	
主な施策		縁結び応援事業(縁結び応援事業)				

(3) 出産・子育てがしやすい環境づくり

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		子育てサービスや体制が整っていると思う保護者の割合	66.9% (2014年)	75% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課)	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「朝倉市は子育てサービスや体制が整っていると思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「ふつう」と答えた市民の割合			進捗状況 A KPI設定要因 目標値の予測が不十分	
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	69.7%	-	71.0%	-	
	増減比	2.8 UP	-	4.1 UP	-	
主な施策		チャイルドシート貸出(チャイルドシート貸出事業) 子ども医療費の助成(子ども医療給付事務) 中学生以下インフルエンザ予防接種助成(中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業) 休日保育(私立保育園運営委託等事業) 働く・育てるための施策の充実(私立保育園一時預かり事業、私立保育園病児・病後児保育事業、子育て短期支援事業、乳幼児健康支援一時預かり事業、ファミリーサポートセンター事業、学童保育所建設事業) 子育て親子の交流促進(私立保育園地域子育て支援拠点事業、つどいの広場事業) 婚姻歴のないひとり親への寡婦(夫)控除みなし適用(低所得保護者就学援助事業(幼稚園)、施設型給付事業) 小・中学校新入学生学用品費入学前支給(小学校就学援助事業、中学校就学援助事業) 子ども読書の推進(移動図書館事業、ブックスタート事業)				

(4) 子育てに目を向けた学校教育

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		学校生活が楽しいと思う児童の割合	86.4% (2014年)	90% (2019年)	全国学力・学習状況調査 (教育課) 毎年度実施	
指標説明	毎年度実施する小学生アンケート 「学校へ行くのは楽しいと思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた児童の割合				進捗状況	
					B その他要因	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	80.9%	86.8%	84.4%	未実施	
	増減比	5.5 DOWN	0.2 UP	2.0 DOWN	-	
数値目標		学校生活が充実していると思う生徒の割合	84.9% (2014年)	90% (2019年)	全国学力・学習状況調査 (教育課) 毎年度実施	
指標説明	毎年度実施する中学生アンケート 「学校へ行くのは楽しいと思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合				進捗状況	
					B その他要因	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	84.8%	81.7%	83.3%	未実施	
	増減比	0.1 DOWN	3.2 DOWN	1.6 DOWN	-	
主な施策	英語教育の推進（公立保育所管理運営事業、小学校英語活動事業） 学校教育の再編（道路新設改良事業、杷木統合新設小学校施設建設事業、秋月小中一貫校施設建設事業） 教育支援の充実（教育支援センター運営事業、教育相談事業） おらが学校委員会（中学校学事振興事業）					

(5) 地域で子育て

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		学校・家庭・地域が連携した教育がされていると思う市民割合	49.3% (2014年)	60% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課)	
指標説明	隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート 「学校・家庭・地域が連携した教育がなされていると思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた市民の割合				進捗状況	
					A 外的要因	豪雨災害により 学校が参加できる 地域行事等が 減少
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	48.8%	-	51.1%	-	
	増減比	0.5 DOWN	-	1.8 UP	-	
主な施策	おらが学校委員会（小学校学事振興事業）					

基本目標4 地域の個性で輝く朝倉

		評価指標	基準値	目標値	出典等															
数値目標		住みよさランキング九州・沖縄ブロック	11位 (2015年)	10位以内 (2019年)	東洋経済別冊 都市データパック [雑誌] 住みよさランキング(九州・沖縄ブロック) 東洋経済新報社															
指標説明		東洋経済が公的統計をもとに、現状の各市がもつ「都市力」を、①安心度、②利便度、③快適度、④富裕度、⑤住宅水準充実度の5つの観点に分類し、各指標について、それぞれ平均値を50とする偏差値を算出、その平均を総合評価としてランキングしたもの。			進捗状況															
		B その他要因			指標算出構成要素の変更、若年層人口流出															
実績データ	年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年														
	数値	9位	12位	24位	86位															
	増減比	2位 UP	3位 DOWN	12位 DOWN	62位 DOWN															
※増減比＝基準値		<p>住みよさランキング九州・沖縄ブロック</p> <table border="1"> <caption>住みよさランキング九州・沖縄ブロック (順位)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年</td> <td>11位</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>9位</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>12位</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>24位</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>86位</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>100位</td> </tr> </tbody> </table>					年	順位	2015年	11位	2016年	9位	2017年	12位	2018年	24位	2019年	86位	2020年	100位
年	順位																			
2015年	11位																			
2016年	9位																			
2017年	12位																			
2018年	24位																			
2019年	86位																			
2020年	100位																			



考察

4つある指標のほとんどで目標値を達成できておらず、特に、基本目標の指標になっている住みよさランキング順位は、2016年に目標に達したものの順位が大きく後退しています。ランキングは5つの項目から構成され、特に安心度で順位が下がっています。これは、2017年まで保育施設定員数に対する0～4歳人口当たりの待機児童数だった数値化算出の構成要素が、年少人口増減率や20～39歳女性人口当たり0～4歳児数に変更されたため、前述の基本目標3のとおり、少子化が進む現状では、厳しい算出要素になっています。

災害時の助け合いなどにより、協働のまちづくりへの理解が深まっていますが、人口減少、少子高齢化が進み、生活再建の途上で希薄となっている、人と人、人と地域のつながりなど地域住民の結びつきの強化を図ること、各地域の特性を活かしたまちづくりを推進することが要であり、復興事業や国が進める国土強靱化等との連携した取り組みが必要となってきます。

(1) 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		朝倉市が住みやすいと思う市民の割合	51.4% (2015年)	60% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課)	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「朝倉市は住みやすいか。」の設問に「住みやすい」と答えた市民の割合			進捗状況	
					B 外的要因	豪雨災害による各種公共施設の停止
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	51.5%	-	47.5%	-	
	増減比	0.1 UP	-	3.9 DOWN	-	
主な施策		安心して生活できる防犯対策（防犯灯設置補助事業） スイゼンジノリの保全（絶滅危惧種保全事業） 新庁舎整備（庁舎建設事業） 十文字公園整備（十文字公園整備事業（補助）、十文字公園整備事業（単独））				

(2) 地域コミュニティの活性化

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		地域コミュニティ活動に参加している市民割合	38.0% (2014年)	50% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート (総合政策課)	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「コミュニティ協議会、区、老人クラブ、子ども会、地区社会福祉協議会等による地域での活動やサロン、ボランティア活動等に参加しているか。」の設問に「積極的に参加している」「なるべく参加している」と答えた市民の割合			進捗状況	
					B 外的要因	豪雨災害により地域行事等が減少
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	39.4%	-	33.5%	-	
	増減比	1.4 UP	-	4.5 DOWN	-	
主な施策		観光振興対策補助（秋月地区観光振興補助事業、高木地区観光振興補助事業） 地域環境整備事業補助（地域環境整備補助事業） 地域活動支援（地域活動支援事業）				

(3) 地域を支援する人材の育成と活用

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		新たな地域支援人材	1人 (2015年)	3人 (2019年末)	ふるさと課等関係部署へ調査照会 (総合政策課)	
指標説明		地方創生・CCRCイニシアティブ事業の事業管理専門員、集落支援員、地域おこし協力隊等			進捗状況	
					S	2019年度途中から地域おこし協力隊増
実績データ	年	2016年始	2017年始	2018年始	2019年始	2019年末
	数値	1人	1人	2人	2人	
	増減比	100.00%	100.00%	200.00%	200.00%	
主な施策		地域おこし支援（集落維持・活性化事業）				

基本目標5 全力で魅力を発信する朝倉

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等																
	地域ブランド調査 魅力度 市町村ランキング	787位 (2014年)	500位 (2019年)	地域ブランド調査 書籍 (株)ブランド総合研究所																
指標説明	「地域ブランド調査」は、全国3万人が各地域のブランド力を徹底評価する日本最大規模の消費者調査。調査項目は、「魅力度」「認知度」「情報接触度」「観光意欲度」「居留意欲度」「産品購入意欲度」「食品想起率」「食品以外想起率」の8項目についての設問を加重平均して点数を算出。			進捗状況																
				A 外的要因	豪雨災害による知名度向上と居留意欲度の低下															
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年														
	数値	631位	536位	712位	736位															
	増減比	156位 UP	251位 UP	75位 UP	51位 UP															
※増減比＝基準値																				
<div style="text-align: center;"> <p>地域ブランド調査 魅力度 市町村ランキング</p> <table border="1"> <caption>地域ブランド調査 魅力度 市町村ランキング</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年</td> <td>787位</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>631位</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>536位</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>712位</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>736位</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>736位</td> </tr> </tbody> </table> </div>							年	数値	2014年	787位	2015年	631位	2016年	536位	2017年	712位	2018年	736位	2019年	736位
年	数値																			
2014年	787位																			
2015年	631位																			
2016年	536位																			
2017年	712位																			
2018年	736位																			
2019年	736位																			

考察

5つの指標のうち4つで目標値に到達しているものの、基本目標の指標になっている地域ブランド調査魅力度ランキングは、低迷しています。

豪雨災害により、知名度が上がり、メディアへの露出や被災地支援のふるさと納税件数が増えた一方、魅力度ランキング調査は6～7月の出水期にインターネットで行われるため、3年連続で大雨特別警報が発令している現状では、居留意欲度の上昇は厳しいものと思われます。

しかし、認知度が増えたことで、被災地支援など、継続的に多様な形でかかわる「関係人口」の創出・拡大を図ることができます。

また、災害からの復興をPRする取組みを進めることで、「田舎暮らし」の情報発信を強化し、地方への新しいひとの流れを作る取組みも考えられます。

(1) 知名度向上・PR

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		ふるさと納税の 寄附件数	11件 (2014年)	10,000件 (2019年)	ふるさと応援寄付金件数（ふるさと課）4-3月ベース集計（システムから件数出力）	
指標説明		ふるさと応援寄付金件数 4-3月ベース集計 2015年6月から返礼品を開始したことにより、急激に増加 件数は延べ件数（寄附申込件数≠寄附者数）			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	10,517件	26,255件	32,522件	21,131件	
※2015年比	増減比	-	249.64%	309.23%	200.92%	
主な施策		百人一首の活用（百人一首活用事業） 広域連携による観光情報の発信、観光プラットフォームの構築（広域地域振興事務） ふるさと納税（ふるさと応援寄附金）寄附見込額（ふるさと応援寄附金事業） 郷土料理を活かしたPR（観光施設維持管理事業、観光振興係庶務事務、物産振興事業） 古代山城サミット開催（歴史・文化普及啓発事業） 秋月博物館開館PR（秋月博物館管理・活用事業）				

(2) マスメディアの活用

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		マスコミへのリ リース件数	482件 (2014年)	500件 (2019年)	マスコミへのリリース件数（新聞、テレビ、雑誌等） （商工観光課・人事秘書課）	
指標説明		定期発信（NHK、新聞4社、today、JAF）、業者 発信、更新、パンフレット送付件数を集計。 ※TODAY：月1回の西日本新聞に折り込み紙面分 ※業者発信：旅行業者等が、募集チラシに使用する写 真提供の依頼件数			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	410件	501件	724件	785件	
※2015年比	増減比	85.06%	103.94%	150.21%	162.86%	
主な施策		エリア観光モバイル端末向けポータルサイト構築（「観光・食・農」魅力発信プロジェクト事業）				

(3) 大都市圏・県内での情報発信

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		移住・定住フェアへの参加	0件 (2014年)	1件 (各年度)	移住・定住に関するフェア参加回数 （ふるさと課）	
指標説明		ふくおか移住・定住フェア（福岡県主催に朝倉市ブース申込） 朝倉市版CCRCイニシアティブ事業 など			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	1件	2件	0件	5件	
※2015年比	増減比	-	200.00%	0.00%	500.00%	
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		全国各地の県人会・朝倉会との連携	- (2014年)	3件 (各年度)	各部署へ調査照会 （総合政策課）	
指標説明		福岡県人会（東京・関西など）、朝倉会（東京・関西・福岡など）での連携 関西朝倉会へふるさと応援寄附金の案内配布など			進捗状況	
					S	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	2件	2件	2件	5件	
※2015年比	増減比	-	100.00%	100.00%	250.00%	
主な施策		ブランド構築（ブランド構築事業）				